

水野仙子 みづの 小説家。明治二十一年十一月二日福島縣生れ、大正八年五月二十一日没（八六—九九）。歌人服部躬治みとほろの實妹。本名川浪子。筆名ゆゑん子、こい、仙、川浪くい、川浪こい子、服部くい子、服部水仙、服部水仙子、服部貞、服部貞子、水野仙、須川未子、須賀川等。明治二十八年須賀川裁縫專修學校卒。四十一年田山花袋の師等。四十四年日本書簡學會編輯員となり、同門の川浪道二（號磐石）と結婚、また雑誌『青鞥』の同人に加はる。大正四年『讀賣新聞』記者、翌年病を獲て歸郷し、靜養の傍ら作『露夜表』、轉地先の群馬縣草津の姉の家で死去。

著書『二十一篇』（合著・田山花袋選、明治四十二年一月一日東京堂書店）、『青鞥小説集・第一』（水野仙各、合著・青鞥社編、大正一年）二月二十五日東京堂）、『水野仙子集』（川浪道二編、大正九年五月二十一日叢文閣）等。